JAHIS

ＪＡＨＩＳ標準　１５－００４

Japanese

Association of

Healthcare

Information

Systems Industry

ＪＡＨＩＳ
生理機能検査レポート
構造化記述規約
Ver.1.0

２０１５年８月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

医療システム部会　検査システム委員会

ＪＡＨＩＳ　生理機能検査レポート構造化記述規約 Ver.1.0

ま　え　が　き

医療現場において、診療記録、検査報告書、診療情報提供書、各種サマリ等多くの診療文書が使用されている。従来紙上で記述されるか、ワープロソフトや各ベンダーの独自形式での電子化あるいは PDF といった形式で作成されていることが多かった。ICT 技術の発展と共にさらに電子的な情報共有によりそれら診療文書の情報を治療に活用したり、さらには IT 技術を利用することで人的ミスによる医療事故を未然に防止したりすることへの期待が高まっている。この人的ミスの原因には、診療情報や検査結果が対象部門に十分に伝わらなかったため、それらが適切な治療に結びつかなかったことが含まれる。これらについて、標準化された医療情報交換により診療部門間及び医療機関間の正確な情報連携を実現し、システム間の情報連携がスムーズで確実に行えることが期待されてきた。

これらに対応するため HL7 CDA（Clinical Document Architecture)による実装も試みられているが、CDA による記述の裁量範囲が広いため、同じような目的の診療文書が異なった仕様で実装されてしまう可能性が考えられる。そのため、共通であるべき情報は可能な限り共通仕様としてまとめ、共通の考え方で実装することを目的に規約共通編（「JAHIS 診療文書構造化記述規約共通編 Ver.1.0」）が規定された。

これらをふまえ、生理機能検査についても規約共通編の内容を精査した上で、国内(Realm=JP)における生理機能検査固有の仕様をとりまとめ、規約共通編と組み合わせて利用することを前提に本規約を作成した。

医療の ICT 化に期待された様々な有効性を実現するためにお役立て戴くことを期待している。

２０１５年８月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会 検査システム委員会

＜＜　告知事項　＞＞

本規約は関連団体の所属の有無に関わらず、規約の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い、本規約に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本規約作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本規約についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

© JAHIS 2015

目　　次

1　生理機能検査レポート概要 1
1.1　本規約と規約共通編の位置付けについて 1
2　主な用語 1
3　CDA ヘッダ部 2
3.1　CDA ヘッダ属性部 2
3.1.1　固有の制約 2
3.2　ドキュメントヘッダ部 3
3.2.1　固有の制約 3
4　CDA ボディ部 6
4.1　セクション概要 6
4.2　セクション定義 6
4.2.1　患者付帯情報 6
4.2.2　バイタルサイン 8
4.2.3　検査項目 8
4.2.4　既往歴 9
4.2.5　自覚症状 10
4.2.6　検査時使用薬 11
4.2.7　検査記述 12
4.2.8　心電図コメント 13
4.2.9　計測値（生理検査） 14
4.2.10　解析結果（生理検査） 17
4.2.11　超音波所見 18
4.2.12　検査所見 19
4.2.13　医師所見 20
4.2.14　外部参照 21
付録―１．作成者名簿 22

© JAHIS 2015

1　生理機能検査レポート概要

生理機能検査には、循環器系検査（心電図検査、超音波検査など）、脳神経系検査（脳波、筋電図など）、呼吸器系検査（スパイロメトリーなど）、肝臓、消化器、腎臓、産科、婦人科系などの検査（超音波検査など）、サーモグラフィ、眼底検査などの画像検査がある。本規約はこれらの検査に関する生理機能検査レポート情報を記述するための規定を定めるものである。ここでいう生理機能検査レポートとは、医師による判読が行われたレポートのみではなく、システム、検査機器により生成された検査データも広義のレポートとし、規約の対象とする。

1.1　本規約と規約共通編の位置付けについて

本規約では、規約共通編（JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.1.0）に記載されていない診療文書固有の仕様を定義した内容を記載しており、各診療文書で共通的に利用可能と思われる仕様は規約共通編を参照している。したがって、本規約と規約共通編を組み合わせて使用されたい。

2　主な用語

規約共通編「３．主な用語」を参照のこと。

また、本規約では HL7CDA　R2 のデータ型、ボキャブラリ、RIM(Reference Information Model)、R-MIM(Refined Messsage Information Models)等詳細仕様記載を簡略化している。詳細仕様については以下 HL7 協会の URL で入手し、参照されたい。スキーマも入手可能となっている。ユーザ登録（無料）をすればダウンロード可能である。

http://www.hl7.org/implement/standards/product_brief.cfm?product_id=7

© JAHIS 2015

3 CDA ヘッダ部

CDA ヘッダ部で記述すべき内容は、規約共通編に記載されている項目を共通使用する。

生理機能検査レポートでは規約共通編に定義された項目を選択し、場合により制約を加え内容を記述する。本規約では、CDA ヘッダ部を文書の識別、種類などを特定する CDA ヘッダ属性部と、文書の記入者、受診者などの情報を記載するドキュメントヘッダ部として記載する。

3.1 CDA ヘッダ属性部

作成される文書の識別、種類などを特定するための情報を記述する。

3.1.1 固有の制約

生理機能検査レポートにおける CDA ヘッダ属性部を記述する際の固有の制約について記載する。

(1) テンプレート ID

生理機能検査レポートを記述する際のテンプレート ID＜ClinicalDocument.templateId＞を、以下に示す。

表 3-1 生理機能検査レポートテンプレートID

項目名	テンプレートID
心電図検査レポート	2.16.840.1.113883.2.2.1.7.15
超音波検査レポート	2.16.840.1.113883.2.2.1.7.11
肺機能検査レポート	2.16.840.1.113883.2.2.1.7.16
脳神経検査レポート	2.16.840.1.113883.2.2.1.7.17
PWV/CAVI/ABI検査レポート	2.16.840.1.113883.2.2.1.7.18
その他生理機能検査レポート	2.16.840.1.113883.2.2.1.7.12

(2) ドキュメントコード

生理機能検査レポートを記述する際のドキュメントコード＜ClinicalDocument.code＞には、生理機能検査レポート種別に相当するコードを用いる。以下にドキュメントコード例を示す。

表 3-2 生理機能検査レポートドキュメントコード例

コード	displayName(英表記)	項目名
28010-7	EKG Report	心電図検査レポート
12132-7	US Report	超音波検査レポート
18759-1	Spirometry Study	肺機能検査レポート
76641-0	Neurology study Report	脳神経検査レポート
77199-8	Arteriosclerosis study Report	PWV/CAVI/ABI検査レポート
47045-0	Physiological study Report general	その他生理機能検査レポート

※本例のコード体系には LOINC を使用

© JAHIS 2015

3.2 ドキュメントヘッダ部

文書の記入者、受診者、提供・対象などの情報を記述する。

3.2.1 固有の制約

生理機能検査レポートにおけるドキュメントヘッダ部を記述する際の固有の制約について記載する。

(1) 患者基本情報

生理機能検査レポートを記述する際の患者基本情報に含まれる保険機関情報
＜ClinicalDocument.recordTarget.patientRole.providerOrganization＞には、受診者の所属科を記述する。所属科には任意の名称を記述することができる。

(2) ドキュメントヘッダ部項目一覧

ドキュメントヘッダ情報については、他の文書類と内容、書式などを共通の定義として記載する。そのため本規約では共通の定義に従い生理機能検査レポートの特性にあった制約を行っている。
規約共通編にて記載のある項目について、生理機能検査レポートでの利用定義を示す。

表 3-3 ドキュメントヘッダ部項目一覧　利用定義

項目		Opt.※1	説明
患者情報		R	recordTarget
	ID	R	patientRole/id
	住所	O	patientRole/addr
	電話番号	O	patientRole/telecom
	姓名（英語）	O	patientRole/patient/name @use="ABC"
	姓名（漢字）	R	patientRole/patient/name @use="IDE"
	姓名（カナ）	R	patientRole/patient/name @use="SYL"
	性別	R	patientRole/patient/administrativeGenderCode
	生年月日	R	patientRole/patient/birthTime nullFlavor可
	婚姻情報	N	patientRole/patient/maritalStatus
	宗教	N	patientRole/patient/religiousAffiliationCode
	後見人	N	patientRole/patient/guardian
	生誕地	N	patientRole/patient/birthplace/place
	対話言語の堪能レベル	N	patientRole/patient /languageCommunication
	保険機関	O	patientRole/providerOrganization/name ※生理機能検査レポートでは所属科を格納
作成者および作成システム		*R*	author
	作成日時	R	time　所見記入日時など。
	作成者IDもしくはシステムのUID	R	assignedAuthor/id
	作成者住所	O	assignedAuthor/addr
	作成者電話番号	O	assignedAuthor/telecom

© JAHIS 2015

	作成者名	R	assignedAuthor/assignedPerson/name　※2 所見記入者など。
	作成システム	R	assignedAuthor/assignedAuthoringDevice　※2 本CDAを作成した機器あるいはシステム。モダリティで測定し、レポートシステムがCDAを生成する場合、レポートシステムの情報を記述する。測定モダリティの情報は計測値セクションのAuthorに記述する。
	作成組織	R	assignedAuthor/representedOrganization authoringDeviceを製造あるいは提供しているメーカ
転記者		N	dataEnterer
	ID	N	assignedEntity/id
	住所	N	assignedEntity/addr
	電話番号	N	assignedEntity/telecom
	入力者	N	assignedEntity/assignedPerson
情報提供者 1		N	informant
	ID	N	assignedEntity/id
	住所	N	assignedEntity/addr
	電話番号	N	assignedEntity/telecom
	提供者	N	assignedEntity/assignedPerson
情報提供者2		N	informant
	コード	N	relatedEntity/code
	関係者	N	relatedEntity/relatedPerson
保管組織		R	custodian
	組織ID	R	assignedCustodian/representedCustodianOrganization/id
	組織名	R	assignedCustodian/representedCustodianOrganization/name
	電話番号	R	assignedCustodian/representedCustodianOrganization/telecom
	住所	R	assignedCustodian/representedCustodianOrganization/addr
受取人（依頼科）		O	informationRecipient
	ID	O	intendedRecipient/id
	住所	O	intendedRecipient/addr
	電話番号	O	intendedRecipient/telecom
	受取人	O	intendedRecipient/informationRecipient
	受取組織	O	intendedRecipient/receivedOrganization
法的本書承認者		N	legalAuthenticator
	日時	N	time
	署名コード	N	signatureCode
	承認者	N	assignedEntity
本書記載内容責任者		O	authenticator ドキュメント承認者。判読医などのレポート承認者。
	日時	R	time
	署名済みコード	R	signatureCode
	ID	R	assignedEntity/id
	住所	O	assignedEntity/addr
	電話番号	O	assignedEntity/telecom
	記載者	R	assignedEntity/assignedPerson
関係者		O	participant
	関係者	N	associatedEntity
オーダ情報		O	inFulfillmentOf
	オーダ番号	R	order/id 電子カルテ等発行のオーダ番号

© JAHIS 2015

検査・診療等行為		R	documentationOf
	サービスイベントコード	O	serviceEvent/code
	実施日	R	serviceEvent/effectiveTime 検査開始日時を<low>、検査終了日時を<high>に記述する。区別しない場合は、同値を両者に記述する。
	行為の補足	O	serviceEvent/performer/functionCode
	ID	R	serviceEvent/performer/assignedEntity/id
	住所	O	serviceEvent/performer/assignedEntity/addr
	電話番号	O	serviceEvent/performer/assignedEntity/telecom
	実施者	R	serviceEvent/performer/assignedEntity/assignedPerson ※生理機能検査レポートでは検査者名を格納
文書関係		N	relatedDocument
	ID	N	parentDocument/id
承諾		N	authorization
	ID	N	consent/id
	コード	N	consent/code
	ステータスコード	N	consent/statusCode
受診時情報		N	componentOf
	ID	N	encompassingEncounter/id
	コード	N	encompassingEncounter/code
	期間。例えば入院期間	N	encompassingEncounter/effectiveTime
	退院時の患者の傾向	N	encompassingEncounter/dischargeDispositionCode
	診察に対して第一の法的責任を負う者	N	encompassingEncounter/responsibleParty
	診察と直接関係のある医師	N	encompassingEncounter/encounterParticipant
	診療施設	N	encompassingEncounter/location/healthCareFacility

※1　本規約での取り扱いは以下の通りである。

R=必須。O=任意。N=本規約では使用しない(合意の下、関係システム内限定で使用可)

※2　author の中にどちらか 1 つのみ記述可能。共に記述する場合は author を 2 つ記述する。

© JAHIS 2015

4 CDA ボディ部

CDA ボディ部には検査に関する情報が記述される。各情報はセクション単位で構成され、さらに、セクションは、任意のエントリから構成される。ボディ部定義については、規約共通編を参照されたい。

4.1 セクション概要

ボディ部には、検査項目、検査結果データへの外部リンク情報、検査所見、診断情報、既往歴や自覚症状など検査にまつわる情報、計測値が含まれ、それぞれセクションとして表現される。
本規約で使用する各セクションの情報を以下に示す。各セクションのエントリ記述ブロックで使用するコードは、LOINCやJLAC10等、諸団体にてコードが定義されている項目を使用する事が可能である。

表 4-1 セクション一覧表

セクション名	Opt.	セクションコード	テンプレートID
患者付帯情報	O	LOINC=52460-3	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.3
バイタルサイン	O	LOINC=74728-7	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.45
検査項目	O	JLAC10コードあるいはJJ1017コード	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.43
既往歴	O	LOINC=11348-0	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.18
自覚症状	O	LOINC=61150-9	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.42
検査時使用薬	O	LOINC=15334-6	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.44
検査記述	O	LOINC=70004-7	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.15
心電図コメント	O	LOINC=11524-6	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.47
計測値（生理検査）	O	LOINC=29273-0	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.51
解析結果（生理検査）	O	LOINC=64110-0	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.52
超音波所見	O	LOINC=12131-9	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.46
検査所見	O	LOINC= 47045-0	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.48
医師所見	O	LOINC=29308-4	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.49
外部参照	O	LOINC=78239-1	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.41

4.2 セクション定義

本項では、各セクションについての定義を記載する。

4.2.1 患者付帯情報

(1) 概要

本セクションについては、規約共通編にて定義されているが、本規約において使用する場合の制約事項を本項に記載するものとする。本セクションはもともと CDA ヘッダ部にて記述する患者基本情報部（recordTarget）で表現しきれない情報を補うためのセクションである。患者付帯情報として記述可能な項目はいくつか存在するが、本規約では年齢のみ使用可能とする。

CDA においては、通常検査日と生年月日より年齢を求めるため、年齢の記述はオプションである。しかし、心電計等のモダリティにおいて、年齢のみ入力する機能があり、その年齢によって自動解析結果が異なるケースがある。そのようなケースでは、生年月日が記述されず、年齢が記述される。生年月日が記述されている場合でも本セクションにて年齢が記述されている場合には、本年齢が優先されるが、生年月日から計算により算出された年齢と差異がある場合、処理側ではその扱いに留意する必要がある。

尚、年齢分類については LOINC コード=30525-0 を使用し、年齢単位については、”年”,”月”,”週”,”日”の 4 項目を使用可能とする。また、CDA については検査日、診療記録記載日時などと生年月日で年齢

© JAHIS 2015

を算出するが、本情報記載の場合は算出年齢よりも優先される。

(2) 説明ブロック仕様

表 4-2 患者付帯情報 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.3"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.3	テンプレートID値
code	1..1		
@code	R	52460-3	セクションコード値
@displayName	R	患者付帯情報	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-3 患者付帯情報 エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.3"]/entry			
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R	30525-0	年齢分類コード。 規約共通編を参照。
@displayName	R	年齢	年齢分類コードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	年齢分類コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	年齢分類コードのコード体系を示す文字列
value	0..1		
@xsi:type	R	PQ	年齢データ型
@value	R		年齢
@unit	R		年齢に対する単位

(4) XML 記述サンプル

```
<section>
   <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.3"/>
   <code code="52460-3" displayName="患者付帯情報" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
      codeSystemName="LOINC"/>
   <entry>
```

© JAHIS 2015

```
        <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
          <code code="30525-0" displayName="Age" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
            codeSystemName="LOINC"/>
          <value value="30" unit="a" xsi:type="PQ"/>
        </observation>
      </entry>
    </section>
```

4.2.2 バイタルサイン

身長、体重、収縮期血圧、拡張期血圧の値を記述するために用いる。規約共通編において患者付帯情報での表現を認めているが、本規約では患者付帯情報への記述は許さないこととする。各ブロック仕様については、規約共通編を参照されたい。

4.2.3 検査項目

(1) 概要

生理機能検査において実施される検査項目を指定するために用いる。
本規約では日本臨床検査医学会で定める臨床検査分類コード（以下、JLAC10）、JJ1017、LOINC にて定める検査項目コードのいずれかを使用することを想定している。

(2) 説明ブロック仕様

表 4-4 検査項目　説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.43"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.43	テンプレートID
code	1..1		
@code	R		JLAC10の場合：JLAC10のコード値 LOINCの場合：セクションコード値
@displayName	R		JLAC10の場合：JLAC10のコード名称 LOINCの場合：セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R		セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	R		セクションコードのコード体系を示す文字列。特に当コード体系はLOINC以外のコードが想定されるため、本規約では必須としている。
title	1..1		
text()	R	検査項目	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	O		セクションのテキスト記述文字列

© JAHIS 2015

(3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

(4) XML 記述サンプル

JLAC10 の場合を用いてサンプルを記載する。

```
<section>
   <templateId  root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.43"/>
   <code code=”9F110” codeSystem="1.2.392.200119.4.1005" codeSystemName="JC10"
       displayName="超音波心臓検査" />
           <title>超音波心臓検査</title>
           <text>小児心エコー</text>
</section>
```

4.2.4 既往歴

(1) 概要

過去の病歴、プロブレム、診断の経歴、現疾患あるいは治療を探るために直接可能性のあることの詳細を記述するのに用いる。

(2) 説明ブロック仕様

表 4-6 既往歴 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=” 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.18”]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.18	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	11348-0	セクションコード
@displayName	R	既往症	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	既往歴	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	O		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

© JAHIS 2015

(4) XML 記述サンプル

```
<section>
   <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.18"/>
   <code code="11348-0" displayName="既往歴" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
     codeSystemName="LOINC"/>
   <title>既往歴</title>
   <text>心臓弁膜症</text>
</section>
```

4.2.5 自覚症状

(1) 概要

患者本人が知覚する症状。痛み・吐き気・倦怠感などの記述に用いる。

(2) 説明ブロック仕様

表 4-7 自覚症状 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.42"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.42	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	61150-9	セクションコード
@displayName	R	自覚症状	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	自覚症状	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	O		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

(4) XML 記述サンプル

```
<section>
   <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.42"/>
   <code code="61150-9" displayName="自覚症状" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
     codeSystemName="LOINC"/>
   <title>自覚症状</title>
   <text>倦怠感</text>
</section>
```

© JAHIS 2015

4.2.6 検査時使用薬

(1) 概要

検査時に患者に投薬された薬剤情報を記述するのに用いる。例えば、心電図波形に影響があるカルシウム拮抗薬などを記述する。病棟等での処方薬は含まない。

(2) 説明ブロック仕様

表 4-8 検査時使用薬 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.44"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.44	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	15334-6	セクションコード
@displayName	R	検査時使用薬	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	検査時使用薬	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	O		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

(4) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.44"/>
  <code code="15334-6" displayName="検査時使用薬"
    codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>検査時使用薬</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>カルシウム拮抗薬 </td>
        </tr>
        <tr>
          <td>ジギタリス </td>
        </tr>
      </tbody>
    </table>
```

© JAHIS 2015

```
    </text>
</section>
```

4.2.7 検査記述

(1) 概要

検査結果に対し「負荷後 00’43”」や所見ではないコメントなどの補足情報を付加するために用い、循環器分野データでは、entry 部で負荷分類を記述することができる。

(2) 本セクション使用コード

心電図検査負荷分類を記述する場合は、表 4-9 を使用する。

表 4-9 心電図検査負荷分類コード表（code=76645-1）

項目名	displayName	値
安静時	Rest	LA22649-0
運動負荷	Exercise	LA22651-6
薬剤負荷	Medication	LA22650-8
その他負荷	Other	LA46-8

※コード体系には LOINC を使用

(3) 説明ブロック仕様

表 4-10 検査記述 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=” 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.15”]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.15	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	70004-7	セクションコード
@displayName	R	検査記述	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	検査記述	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	O		セクションのテキスト記述文字列

(4) エントリ記述ブロック仕様

表 4-11 検査記述 エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=” 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.15”]/entry			
observation	1..1		

© JAHIS 2015

@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		心電図の負荷分類の場合、表4-9参照
@code	R		
@displayName	R	例） Cardiac stress test ECG study Type	
@codeSystem	R	例）2.16.840.1.113883.6.1	
@codeSystemName	O	例）LOINC	
value	0..1		
@xsi:type	R	CD （心電図の負荷分類の場合）	
@code	R		例）負荷分類コード値
@displayName	R		例）負荷分類名

(5) XML 記述サンプル

```
<section>
   <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.15"/>
   <code code="70004-7" displayName="検査記述" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
      codeSystemName="LOINC"/>
   <title>検査記述</title>
   <text>負荷後 01'00"</text>
   <entry>
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
         <code code="76645-1" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"
            displayName="心電図負荷" />
         <value xsi:type="CD" code="LA22651-6" displayName="Exercise" />
      </observation>
   </entry>
</section>
```

4.2.8 心電図コメント

(1) 概要

生理機能検査における心電図検査時のコメント情報を記述するのに用いる。検査所見と異なり、検査に補足したいコメントを記述する。

(2) 説明ブロック仕様

表 4-12 心電図コメント 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.47"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.47	テンプレートID値

© JAHIS 2015

code	1..1		
@code	R	11524-6	セクションコード値
@displayName	R	心電図コメント	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	心電図コメント	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	O		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

(4) XML 記述サンプル

```
<section>
   <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.47"/>
   <code code="11524-6" displayName="心電図コメント" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
     codeSystemName="LOINC"/>
   <title>心電図コメント</title>
   <text>体動あり</text>
</section>
```

4.2.9 計測値（生理検査）

(1) 概要

検査時に計測した情報や解析結果などを記述するのに用いる。計測値情報の特性上、検査項目により計測値セットが異なることが想定されるため、本規約では、計測情報を記述する上での基本構成を定めるものとする。

多くの場合、計測はモダリティで行われるため、Author にモダリティ情報を記述する。

尚、セクション基本構成の項でも記載しているが、本項で定める基本構成についても、当面各システム間で協議の上、別途構成を定義することは可能である。ただし、その場合であっても HL7 CDA Release2 の規定に従うものとする。

便宜上計測値のグルーピングを CDA 内でも表現したい場合には entryRelationship を用いてグルーピングすることができる。例えば心電図計測値の QTc 間隔の計算式が複数種あり、各々の値を記述する際にそれらをグルーピングして記述することができる。

(2) 本セクション使用コード

基本的な計測値コードを例として以下に示す。

表 4-13 標準12誘導検査　計測値セット例

項目名	displayName	コード	単位
心拍数	Heart rate	8867-4	1/min

© JAHIS 2015

PR間隔	PR interval	8625-6	ms
QRS間隔	QRS duration	8633-0	ms
QT間隔	QT interval	8634-8	ms

※本例でのコード体系にはLOINCを使用

(3) 説明ブロック仕様

表 4-14 計測値（生理検査） 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.51"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.51	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	29273-0	セクションコード
@displayName	R	計測値	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	計測値	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列
author	0..1		
time	1..1		
@value	R		計測日時
assignedAuthor	1..1		
id	1..1	nullFlavor="NI"	当面、使用しない
assignedAuthoringDevice	0..1		
manufacturerModelName	0..1		
text()	R		機器型式名
softwareName	0..1		
text()	R		機器ソフト名　バージョン
representedOrganization	0..1		
Id	1..1	nullFlavor="NI"	当面、使用しない
name	0..1		
text()	R		機器製造メーカ　※ローマ字
@use	R	"ABC"	ローマ字指定

(4) エントリ記述ブロック仕様

表 4-15 計測値（生理検査） エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.51"]/entry			
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	

© JAHIS 2015

code	1..1		
@code	R		計測値コード。
@displayName	R		計測値コードを示す文字列。
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	計測値コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	計測値コードのコード体系を示す文字列
value	0..1		entryRelationship要素で表現する場合は本要素が存在しない
@xsi:type	R		計測値データ型
@value	R		計測値
@unit	O		結果値に対する単位。 単位がない場合には存在しない。
entryRelationship	0..*		計測値コード。 計測値コードのグルーピングが必要な場合に使用する。
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		計測値コード
@displayName	R		計測値コードを示す文字列。
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	計測値コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	計測値コードのコード体系を示す文字列
value	0..1		
@xsi:type	R		計測値データ型
@value	R		計測値
@unit	O		計測値に対する単位。 単位がない場合には存在しない。

(5) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.51"/>
  <code code="29273-0" displayName="計測値" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
  <title>計測値</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>PR 間隔</td>
          <td>172ms</td>
        </tr>
        <tr>
```

© JAHIS 2015

```
                <td>100</td>
                <td>洞調律</td>
              </tr>
              <!-- 以下は繰り返し -->
            </tbody>
          </table>
        </text>
        <author>
          <!-- author 構造に準ずる -->
        </author>
        <entry>
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="8625-6" displayName="PR interval " codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
              codeSystemName="LOINC"/>
            <value value="172" unit="ms" xsi:type="RTO_PQ_PQ"/>
          </observation>
        </entry>
        <!-- 以下は繰り返し -->
</section>
```

4.2.10 解析結果（生理検査）

(1) 概要

本セクションには、計測値や解析により得られた数値類ではなく自動解析コードなどのデータ分析結果の分類コードを記述する。例えば心臓超音波検査における弁逆流や狭窄の重症度判定や壁運動評価といった半定量的な評価結果は本セクションに記述する。結果に関しては、メーカ独自の解析アルゴリズムにより算出され、メーカ毎に異なるコードとなるため、計測値セクションとは区別して記述する。尚、セクション基本構成の項でも記載しているが、本項で定める基本構成についても、当面各システム間で協議の上、別途構成を定義することは可能である。ただし、その場合であっても HL7 CDA Release2 の規定に従うものとする。

(2) ブロック仕様

計測値（生理検査）ブロックと同様である。
templateID は、 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.52 である。

(3) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.52" />
  <code code="64110-0" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"
      displayName="解析結果" />
  <title>解析結果</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>解析結果</td>
```

© JAHIS 2015

```
            </tr>
            <tr>
              <td>9110</td>
              <td>**  normal ECG  **</td>
            </tr>
            </tbody>
          <tbody>
            <tr>
              <td>ミネソタコード(1987)</td>
            </tr>
            <tr>
              <td>1-0</td>
              <td>異常なし</td>
            </tr>
          </tbody>
        </table>
      </text>
      <entry>
        <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
          <code codeSystem="1.2.392.200119.5.2.3.3.1" codeSystemName="ECAPS"
            code="9110" displayName="**  normal ECG  **" />
        </observation>
      </entry>
      <entry>
        <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
          <code codeSystem="1.2.392.200119.5.2.3.3.2.1"
            codeSystemName="MINNESOTA1987_NK" code="1-0" displayName="異常なし" />
        </observation>
      </entry>
    </section>
  </component>
```

4.2.11　超音波所見

(1)　概要

生理機能検査における超音波検査時のコメント情報を記述するのに用いる。

(2)　説明ブロック仕様

表 4-16 超音波所見 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.46"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.46	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	12131-9	セクションコード

© JAHIS 2015

@displayName	R	超音波所見	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	超音波所見	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	O		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

(4) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.46"/>
  <code code="12131-9" displayName="超音波所見"
    codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>超音波所見</title>
  <text>心房粗動の疑い</text>
</section>
```

4.2.12 検査所見

(1) 概要

生理機能検査における検査所見を記述するのに用いる。

(2) 説明ブロック仕様

表 4-17 検査所見 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.48"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.48	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	47045-0	セクションコード
@displayName	R	検査所見	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	検査所見	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	O		セクションのテキスト記述文字列

© JAHIS 2015

(3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

(4) XML 記述サンプル

```
<section>
   <templateId root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.48"/>
   <code code=" 47045-0" displayName="検査所見" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
     codeSystemName="LOINC"/>
   <title>検査所見</title>
   <text>換気量減少</text>
</section>
```

4.2.13 医師所見

(1) 概要

医師所見を記述するのに用いる。各検査データの判読結果として記述を想定している。

(2) 説明ブロック仕様

表 4-18 医師所見 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.49"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.49	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	29308-4	セクションコード
@displayName	R	医師所見	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	1..1		
text()	R	医師所見	セクションタイトルを示す文字列
text	1..1		
text()	O		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

本バージョンではエントリ記述ブロックは用いない。

(4) XML 記述サンプル

```
<section>
```

© JAHIS 2015

```
    <templateId root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.49"/>
    <code code="29308-4" displayName="医師所見" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
      codeSystemName="LOINC"/>
    <title>医師所見</title>
    <text>異常なし</text>
</section>
```

4.2.14 外部参照

(1) 概要

生理機能検査レポートに付加される検査データ（波形、画像、結果 PDF など)、レポート（HTML 形式など)、添付ファイル（シェーマや描画ファイル）への外部参照情報を記述する。

各ブロック仕様については、規約共通編を参照されたい。

© JAHIS 2015

付録―１．作成者名簿

アドバイザ（敬称略）

興梠 貴英　自治医科大学附属病院 企画経営部医療情報部

作成者（社名五十音順）

田中　英敏	(株)グッドマン
日高　浩敦	三栄メディシス（株）
大関　毅	東芝メディカルシステムズ（株）
越智　益美	東芝メディカルシステムズ（株）
平井　正明	日本光電工業（株）
吉村　尚郎	日本光電工業（株）
三田　幸宏	日立アロカメディカル(株)
小林　聡	フクダ電子（株）

© JAHIS 2015

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2015/ 08 /18	Ver. 1.0	初版

（ＪＡＨＩＳ標準　１５－００４）
２０１５年8月発行

ＪＡＨＩＳ　生理機能検査レポート構造化記述規約　Ver.1.0

発行元　一般社団法人　保健医療福祉情報システム工業会
〒１０５－０００４　東京都港区新橋２丁目５番５号
（新橋２丁目ＭＴビル５階）

電話　03-3506-8010　　FAX　03-3506-8070

（無断複写・転載を禁ず）

© JAHIS 2015